

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
1	一般	8	1	321安全でゆとりある道路の整備	用地事務に要する経費	道路河川整備課			①用地事務に係る参考図書を購入及び協議会負担金・研修費及び消耗品等の購入 ②損失補償基準の改正(毎年6月)及びその他の法改正に伴う補償基準の変化に迅速に対応しなければならない。	64	43	6精査・検証	①負担金等の経常的な経費ではあるが、更に精査・検証が必要である。 ②引き続き研修等への出席・参考図書を購入等により、担当職員のスキルアップを図る。	75
2	一般	8	2	321安全でゆとりある道路の整備	道路橋梁事務に要する経費	道路河川整備課			①主要市道整備事業、一般市道整備事業、私道整備事業等を遂行するための経費。 ②道路網の整備、生活道路の整備が追いついていない。	905	917	6精査・検証	①経常的な事務経費であるが、更なる精査・検証が必要。 ②補助金の導入を積極的に図るため、関係機関と連携を図る。	941
3	一般	8	2	321安全でゆとりある道路の整備	主要市道整備事業	道路河川整備課	○	○	①安全で快適な道路網整備のため、主要市道における歩道の整備、危険箇所の線形改良、排水整備、舗装改良を実施し、歩行者等の安全と交通の円滑化を図る。 ②市の主要な道路でも、歩道が無い箇所や狭い箇所が多く、交通量に見合った幅員や舗装構成になっていない。	18,659	94,901	7拡充	①市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、主要市道の整備は不可欠である。 ②事業費を拡大するため、国の交付金の導入を積極的に図る。	215,905
4	一般	8	2	321安全でゆとりある道路の整備	一般市道整備事業	道路河川整備課	○	○	①道路整備による地域環境の向上のため、道路排水施設の整備、舗装新設、狭あい路線の拡幅を行い地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。 ②道路排水施設の未整備箇所、舗装の不良箇所が多い。	7,387	32,628	7拡充	①市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、一般市道の整備は不可欠である。 ②市民のニーズに対応すべく、道路整備の更なる拡大とコスト削減のための整備手法の更なる検討。	45,364
5	一般	8	2	321安全でゆとりある道路の整備	私道整備事業	道路河川整備課	○	○	①道路整備による地域環境の向上のため、未舗装私道の舗装を推進し地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。 ②私道舗装整備要綱の要件の緩和が今後の検討課題となっている。	3,375	2,573	6精査・検証	①市道整備の要望が多数あり、私道整備と市道整備のバランスを取る必要があるため、現状を継続する。 ②市民のニーズに対応すべく、コスト削減のための整備手法の更なる検討。	1,500
6	一般	8	2	133児童・生徒の健康と安全の確保	通学路整備事業	道路河川整備課	○	○	①児童・生徒が安全に通学できるよう、歩道のない通学路に歩道を整備し、登下校における安全性の向上を図る。 ②道路の拡幅等中長期的な時間を要する要望に対しては、まずは代替的な対策で対応せざるを得ない。	2,258	7,157	7拡充	①多数の地権者と交渉し用地補償・工事を進める必要性がある。 ②市道1号線の予備設計及び市道12号線の用地補償を推進する。	11,205
7	一般	8	3	223うるおいある河川・水路の整備	河川事務に要する経費	道路河川整備課			①準用河川整備事業、河川水路整備事業、地域排水整備事業並びに雨水貯留池整備事業を遂行するために必要な経費の支出。 ②浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に予算の範囲内で整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。	432	530	6精査・検証	①将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、効果的な手法の検討及び将来の整備に後戻りの無いよう配慮が必要となるため。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	550
8	一般	8	3	223うるおいある河川・水路の整備	雨水浸透貯留に要する経費	道路河川整備課			①浸透施設の整備及び、市民協働事業による家庭で手軽に取り組める雨水浸透施設等の設置を行うことで、雨水管及び河川への負担軽減へつながる。 ②市民と協働し、いかにして雨水浸透施設の普及・啓発を進めるか。	50	34	6精査・検証	①この事業は単年で結果が出るものではなく、継続することで効果が発揮されるものであるため、効果的に実施できるよう常に検証する必要があるため。 ②設置する際には、効果のある箇所を選択する。	50
9	一般	8	3	223うるおいある河川・水路の整備	河川・水路整備事業	道路河川整備課	○	○	①下流の状況を考慮し、段階的な整備を行う。①流末としての施設の確保及び流下能力の向上等を目的とした暫定改修を行う。②上流域の流末としての機能確保のため50mm/hrの降雨に対応した改修を行う。 ②整備の目安がつかっていないため、整備方針等の検討に取り組みない。	2,714	11,893	6精査・検証	①将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、効果的な手法の検討及び将来の整備に後戻りの無いよう配慮が必要となるため。 ②整備時期は未定であるが、整備の目安がついた段階で整備方針等の検討を行う。	10,903
10	一般	8	3	223うるおいある河川・水路の整備	準用河川整備事業	道路河川整備課	○	○	①計画の策定を行い、上下流の状況を考慮し段階的な河川の改修を行う。①流下能力の向上と護岸の保護を目的とした暫定改修を行う。②50mm/hrの降雨に対応した改修を行う。 ②河川改修は下流から行うのが原則であるため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所を選定し、将来の整備に後戻りないようにしなければならない。	17,675	49,258	6精査・検証	①将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、効果的な手法の検討及び将来の整備に後戻りの無いよう配慮が必要となるため。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	105,347
11	一般	8	3	223うるおいある河川・水路の整備	地域排水整備事業	道路河川整備課	○	○	①浸水被害の直接的な原因が地域排水施設の能力不足や未整備であるものについて、下流への影響を考慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。 ②浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に予算の範囲内で整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。	14,131	42,499	6精査・検証	①将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、効果的な手法の検討及び将来の整備に後戻りの無いよう配慮が必要となるため。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	29,908
12	一般	8	3	223うるおいある河川・水路の整備	雨水貯留池整備事業	道路河川整備課	○	○	①浸水被害の軽減に必要な河川調節池の整備と流出抑制を目的とした貯留池の整備を行う。整備にあたっては、河川の整備計画との整合を図る。 ②浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に予算の範囲内で整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。	63,498	68,339	7拡充	①下流の整備が進んでいない現状では、貯留池を整備することで上流部の整備の可能性を生み出すことが出来るため、貯留池の整備を一層進めることにより浸水被害の軽減を図ることが出来るため。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	163,770
13	一般	8	4	321安全でゆとりある道路の整備	街路事務に要する経費	道路河川整備課			①都市計画道路整備事業及び連続立体交差事業を遂行するための経費。 ②機能的な道路ネットワークの構築が少ない。	4,272	1,576	6精査・検証	①経常的な事務経費であるが、更なる精査・検証が必要。 ②関係機関との連携を図り、街路事業を推進する。	2,347

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち 多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]	
14	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	道路河川整備課	○	○	①事業主体である千葉県に対し、地元負担金を支払う。事業延長280m、幅員18m。 ②県道船橋我孫子線(粟野十字路)との接続形状について県と協議する必要がある。	14,313	10,005	7拡充	①機能的な道路ネットワークの構築や利用者の利便性・安全性の向上を図るべく道路の完成を目指す必要がある。 ②事業主体である千葉県と連携を図るとともに、必要な財源の確保を図る。	3,000
15	一般	8	4	3	322利便性の高い公共交通体系の充実	新京成線連続立体交差事業	道路河川整備課	○	○	①事業主体である千葉県に対し、地元負担金を支払う。関係機関との調整。事業延長3,257m、踏切除却12箇所、事業認可平成14年3月3日～平成30年3月31日。 ②踏切により、交通渋滞が多く、市街地が分断されている。	498,242	670,533	7拡充	①市民から早期完成が求められているため。 ②事業の進捗を図るため、事業主体である千葉県及び関係機関と調整するとともに、必要な財源の確保を図る。	1,025,052
16	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	都市計画道路3・3・16号新鎌ヶ谷南線整備事業	道路河川整備課	○	○	①当該都市計画道路の整備により、新鎌ヶ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。 ②新鎌ヶ谷地区周辺には東西をアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。	—	2,998	7拡充	①新鎌ヶ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要がある。 ②事業認可の取得に向けて予備設計を行い、事業の拡充を図る。	3,000
17	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業(新鎌ヶ谷)	道路河川整備課	○	○	①当該都市計画道路の整備により、新鎌ヶ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。 ②新鎌ヶ谷地区周辺には東西をアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。	—	2,998	7拡充	①新鎌ヶ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要がある。 ②事業認可の取得に向けて予備設計を行い、事業の拡充を図る。	3,000
18	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業(交差部)	道路河川整備課	○	○	①当該都市計画道路の整備により、新鎌ヶ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。 ②新鎌ヶ谷地区周辺には東西をアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。	—	2,998	7拡充	①新鎌ヶ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要がある。 ②事業認可の取得に向けて予備設計を行い、事業の拡充を図る。	3,000
19	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業(中沢)	道路河川整備課	○	○	①都市計画道路の計画変更に必要な概略設計を行い、その後、予備設計、測量を行う。 ②一級河川大柏川第二調節池整備事業との整備計画の整合を図ること。また、現道との接続方法を決定すること。	—	0	7拡充	①一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗状況と合わせ周辺の一体的な整備が必要である。 ②都市計画道路の計画変更に向けて関係機関と協議を行うとともに、予備設計、路線測量を行う。	25,500